

## 「東京グリーンシップ・アクション」第7回活動の報告 ～東京に残された貴重な自然環境を守る～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、環境貢献活動の一環として、2004年11月より東京都が主催する「東京グリーンシップ・アクション」に参加しており、2月18日(土)に第7回目(最終回)の里山における環境保全活動を実施しましたのでお知らせいたします。

この環境保全活動は、典型的な里山の風景をそのまま保全している「函師小野路(ずしおのじ)歴史環境保全地域」にて、環境保全にかかわる地元農家の人々の指導のもと、社員ボランティアが荒れた田んぼを1年半かけて、自然と共存しながらの伝統的な農法により復元するものです。この復元作業を通して、里山の自然の価値や保全の大切さについて認識を深めます。

今回は、「くずはき」という雑木林の落ち葉を掻き集めて堆肥を作る作業を行いました。切り出した竹を用いて雑木林の斜面に幅・奥行きが約3m、高さ2mの囲いを作り、雑木林でかき集めた落ち葉を、編んだ竹かごにて運び、その囲いの中にためます。溜めた落ち葉はやがて良質の堆肥となり、畑での貴重な肥料となります。竹かごに入れて運んだ落ち葉は意外に重く、折からの好天もあって全員汗だくでの作業となりましたが、里山を持続させる工夫を体験することで、自然環境保護の技を学びました。

なお、今回で当初予定していた第1期の活動は終了し、本年4月からは、第2期里山保全活動と称して、本活動を継続してまいります。

当社は、社員の行動規範として「地球環境との調和」を掲げており、CSR活動を強化していく中のひとつの取り組みとして、社会とのかかわりを大切に考え、積極的に環境貢献活動を推進しております。今後も、本活動をはじめ、ENEOSカードによる社団法人国土緑化推進機構への寄付、「ENEOSの森」の全国展開による森林保全、日比谷公園における花壇整備ボランティアなど、さまざまな環境貢献活動を継続的に実施してまいります。

### 記

#### 1. 東京グリーンシップ・アクション

保全地域<sup>※</sup>における企業・NPO等と東京都が連携した自然環境保全活動です。企業は一定の資金の提供とボランティア活動を行うことにより、都内の貴重な自然の保護や回復に協力します。

※「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、都が指定する地域です。良好な自然地や歴史的遺産と一体となった樹林など、都内に残る貴重な自然地を都民の大切な財産として永く残していくことが目的です。現在都内には44箇所の「保全地域」があります。そのうちの4地域で本活動が行なわれています。

2. 協定期間 2004年11月26日～2006年3月31日

3. 活動場所 函師小野路歴史環境保全地域(東京都町田市)

4. 提供金額 60万円

5. 参加者 協定期間中7回の里山保全活動を実施し、毎回、当社社員ボランティアが15名程度参加しました。

6. 役割分担 ◆東京都 …活動の場の提供、道具類の貸与  
◆NPO(町田歴環管理組合) …活動の運営  
◆企業(当社、富士ゼロックス株式会社) …資金の提供、社員ボランティアの参加

#### 7. 活動内容

| 回数  | 日程          | 活動内容               |
|-----|-------------|--------------------|
| 第1回 | 2004年11月26日 | 保全地域内の見学           |
| 第2回 | 2005年 3月19日 | 草刈り、田おこし、水路の整備、畦補修 |
| 第3回 | 2005年 6月11日 | 苗とり、田植え            |
| 第4回 | 2005年 7月 2日 | 田んぼの草取り、周囲の草刈り     |
| 第5回 | 2005年10月15日 | 稲刈り、稲の架け干し         |

| 回数  | 日程          | 活動内容        |
|-----|-------------|-------------|
| 第6回 | 2005年12月 3日 | 作業道具の整備、餅つき |
| 第7回 | 2006年 2月18日 | 雑木林の落ち葉はき   |

#### 8. 函師小野路歴史環境保全地域の概要

- (1) 指定年月日 : 1978年7月4日
- (2) 位置 : 町田市北部、函師町、小野路町にまたがる区域
- (3) 面積 : 366, 056m<sup>2</sup>
- (4) 概要 : 町田市北部のなだらかに起伏する丘陵地。丘陵と谷戸が複雑に入り組んだ地形、典型的な里山の景観を成しており、丘陵部のクヌギ・コナラなどの雑木林と、谷戸部の耕作水田や湿性草地からなる多様な環境を反映して、多様な野生動植物が生息・生育する。  
地元農家を中心に結成された「町田歴環管理組合(任意団体)」が、都の委託を受けて、1996年度から昔ながらの農業手法による維持管理を行なっている。それにより、30年以上耕作放棄した谷戸田や溜め池が復元され、美しい里山の景観とともに、貴重な野生動植物が回復し、良好な自然環境を保全している。

#### 9. 当日の様様



以上